

(1) 本セミナーを含む研究の全体的な目的・方法など、次の項目について具体的に 1 頁以内 で記載してください。図表を含めても構いません。

- ① 開催するセミナーに関する研究目的や研究方法、何をどこまで明らかにしようとするのか。研究全体に関連づけた本セミナーの目的、位置づけ、意義
- ② 相手国と研究交流を行う必要性と意義

注) 電子申請システム上で選択した小区分に応じた書面審査セットで書面審査が行われます。書面審査セット表は本会ウェブサイトで確認してください(https://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/shinsei_shinsa.html)。

※留意事項：

1. 作成に当たっては、「申請書作成に関する注意事項」を必ず確認してください。
2. 作成する前に頁上部のタイトルを見て、正しい申請書の様式を用いているか必ず確認してください（「共同研究」又は「セミナー」）。
3. このファイルは、日本語もしくは英語で作成してください。
4. 使用する文字サイズ及びフォントに指定はありません。
5. 各頁の上部枠内のタイトルと指示書きは動かしたり改変したりしないでください。
6. 指示書きで定められた頁数は超えないでください。なお、空白の頁が生じても削除しないでください。
7. 生成 AI を利用することは、意図せず著作権の侵害、個人情報や機密情報の漏洩につながるリスクがありますので、このことに留意した上で申請者の責任において判断してください。
8. 本留意事項（斜体の文章）については、申請書の提出時には削除してください。

令和 7 年度分 二国間交流事業 セミナー＜申請内容＞

(2) 本セミナーの特色や準備状況など、次の項目について 1 頁以内 で記載してください。

- ① セミナーの特色、着眼点、独創的な点。特に過去に同様のセミナーを含め国際的な研究交流活動(振興会事業に限らない)があれば、それらの実績(見込みを含む)と本セミナーとの間の関連性や、新提案の意義
- ② 最近行われた、又は行われる予定の同種の計画(関連する国際会議等)との関係
- ③ これまでの相手国側研究者との交流状況及び交渉経過
- ④ 日本側の若手研究者養成への貢献
- ⑤ 本事業によるセミナーが終了したときに予想される社会的インパクト及び将来の見通し

令和 7 年度分 二国間交流事業 セミナー＜申請内容＞

(3) 本セミナーの日程及び討議される題目について 1 頁以内で記載してください。

(4) 日本側のセミナー代表者及び参加者の主要研究業績

本セミナーの内容に限ることなく、最近 5 か年を中心に下記の項目について、日本側のセミナー代表者及び参加者が中心的な役割を果たしたもののみ、2 頁以内で研究者ごとに記載してください。口頭・ポスター発表は含みません。

- ① 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文又は著書
 - ※ 「査読の有無」を区分して記載してください。査読の有無に関わらず、印刷済又は採録決定済のものに限ります。査読中及び投稿中のものは除いてください。
 - ※ 著者名(全員の氏名を、論文と同一の順番に記してください。)、題名、掲載誌名、巻号、開始頁ー最終頁、発行年(西暦)をこの順で記載してください。
- ② 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
- ③ 特許・受賞歴

(4) 日本側のセミナー代表者及び参加者の主要研究業績(つづき)

(5)相手国側セミナー代表者の経歴及び主要研究業績

相手国側セミナー代表者のみの経歴、主要研究業績を 1頁以内で記載してください。②～④については、本セミナーの内容に限ることなく、最近 5 か年を中心に相手国側セミナー代表者が中心的な役割を果たしたもののみ記載してください。口頭・ポスター発表は含みません。

① 相手国側セミナー代表者の経歴(最終学位取得大学、学位名、取得年及び主な経歴)

② 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文又は著書

※ 「査読の有無」を区分して記載してください。査読の有無に関わらず、印刷済又は採録決定済のものに限ります。査読中及び投稿中のものは除いてください。

※ 著者名(全員の氏名を、論文と同一の順番に記してください。)、題名、掲載誌名、巻号、開始頁ー最終頁、発行年(西暦)をこの順で記載してください。

③ 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

④ 特許・受賞歴